

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	2773
部 名	保健福祉部	課 名	地域福祉課		課長名	梅沢 道雄
事務事業名	社会福祉事業振興資金補助事業					
予算上の事務事業名	社会福祉事業振興資金補助金					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進				事業開始年度	
施 策 名	第1施策 総合的な福祉施策の推進				平成15年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 助成(給付・補助・貸付) ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
民間社会福祉事業の振興及び育成を図るため、社会福祉法人相模原市社会福祉協議会が、社会福祉事業施設等を設置する社会福祉法人のために必要な資金を融資するために必要な経費等を補助するもの。中核市移行に伴い、独立行政法人福祉医療機構からの融資枠が制度上小さくなることから、従来の融資水準を確保するために創設した制度。				社会福祉法人相模原市社会福祉協議会		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
社会福祉法人相模原市社会福祉協議会に対して、社会福祉事業施設等を設置する社会福祉法人のために必要な資金を融資するために必要な経費として、750千円の補助金を交付した。(補助率100%)						
参考 平成16年度の融資実績 ・橋本りんご保育園 64,398,000円						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移						[単位:千円]
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	0	101	750	1,314	1,593	
一般財源	0	101	750	1,314	1,593	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	329	414	331	331	
事業コスト合計(a)	0	430	1,164	1,645	1,924	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	社会福祉事業振興資金融資事業			対象名称 (単位)	融資件数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	430	1,164	1,645	1,924	
対象数	0	2	3	4	5	
単位あたり経費(円)		215,000	388,000	411,250	384,800	
前年度比			1.80	1.06	0.94	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	融資件数	指標式と指標の説明		今年度融資件数 + 前年度までの融資件数累計 - 返済完了件数融資件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	2.0	3.0		
目標	0.0	0.0	3.0	4.0	5.0
目標達成度			1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	融資金額	指標式と指標の説明		今年度融資金額 + 前年度までの融資金額累計 - 返済済額 事業規模を抽象するもの	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	58300.0	119783.0		
目標	0.0	58300.0	113885.0	145120.0	176355.0
目標達成度			105.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		中核市移行に伴い15年度に開始した事業で、ニーズに対応し、的確に実施されている。今後も民間福祉事業の振興・育成の一助となるよう制度のさらなる充実を検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
融資の着実な実行により、社会福祉協議会の借入金額は逡増するため、入札参加金融機関の確保が容易となり、借入金利の低減による費用対効果の向上が期待できる。			今後、国の補助金制度の変更が見込まれるため、変更の内容が決定次第、適切な対応を検討し、有効な事業運営を展開していく必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			